

このたび、広島大学は平安朝日本文学研究分野において、広島大学における「優れた大学教員の確保・育成のための方針～若手教員が安心して活躍する大学に～」に基づき雇用する教員1名（准教授又は助教）を国際公募します。

この公募により雇用する教員の職名は、採用時の業績審査により、准教授（テニユア（終身在職権））、テニユアトラック教員（准教授、助教）のいずれかに決定します。テニユアトラック教員として雇用された場合で、テニユアトラック期間満了までにテニユア審査に合格することを条件として、准教授としてテニユア（終身在職権）を取得できる新たなポストとなっています。新たな分野を切り開く研究計画提案のもとに、腰を据えて教育研究に専念していただくことを前提としています。

したがって、採用時の審査においては、それまでの教育研究業績の審査に加え、テニユアトラック期間に留まらず10年程度の中長期的な研究計画の内容について審査します。テニユア審査においては、その過程の到達度と将来の展望を加味して総合的に審査します。

広島大学は、採用されたテニユアトラック助教に対して、スタートアップ支援経費を措置します。また、メンター教員の配置等により教員が自立して研究活動を行うことのできる環境を整備しています。なお、テニユアが付与されなかった場合に、テニユアトラック期間の満了する日の翌日から1年を限度として、特任教員として雇用できる環境も整えています。

広島大学の理念、長期ビジョン、中期目標（<https://www.hiroshima-u.ac.jp/about>）にご賛同いただき、広島大学の教育研究を背負ってご活躍いただける意欲のある方をお待ちしております。

広島大学長 越智光夫

広島大学の人事制度改革については、以下のURL先をご覧ください。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/employment/kyoinkobo>



2022年7月28日

関係各位

広島大学大学院人間社会科学研究科長
小林 信一（公印省略）

教員の公募について（依頼）

拝啓 時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度本研究科では、下記の要領で教員を公募することとなりました。

つきましては、関係者各位へ周知いただくとともに、適任者の推薦及び応募についてよろしくお取り計らい願います。

敬具

記

1. 所属（配属）
広島大学学術院（大学院人間社会科学研究科）
2. 職名・人員
准教授又は助教 1名
※採用時の業績審査により、テニユア教員（准教授）、テニユアトラック教員（准教授、助教）のいずれかに決定
3. 採用予定年月日
2023年4月1日
4. 任期又は有期雇用契約期間
【テニユアトラック制適用の場合】
7年（テニユアトラック准教授が准教授のテニユアを取得する場合）
5年（テニユアトラック助教が准教授のテニユアを取得する場合）
 - (1) 広島大学のテニユアトラック制に関する規則に基づき、テニユアトラック期間が満了する6月前までに准教授でのテニユアを付与するかどうかのテニユア審査を行い、これに合格すればテニユアを付与します。テニユア審査は、中間審査及び最終審査により行います。
 - (2) 最終審査の結果、テニユアを付与しなかったときは、テニユアトラック期間の満了をもって退職となります。
 - (3) テニユアトラック期間に出産・育児・介護のライフイベントがあった場合には、休業期間に応じテニユアトラック期間を一定期間延長することができます。
※テニユア審査基準の詳細についてはお問い合わせください。

5. 専門分野

平安朝日本文学

6. 担当科目

- (1) 教養教育科目：「教養ゼミ」 等
- (2) 学部（専門教育科目）：「古代中世文学概説」「古代中世文学研究法」「古代中世文学演習Ⅰ・Ⅱ」「日本文学特別演習A・B」 等
- (3) 大学院（博士課程前期）：「日本古典文学注釈研究A・B」「日本古典文学解読研究A・B」「特別研究」 等
- (4) 大学院（博士課程後期）：「特別研究」 等
- (5) この他、教養教育科目や他の学部・大学院の専門教育科目も担当することがあります。

7. 応募資格

次の要件をすべて満たす者

- (1) 博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む。）を有すること。
- (2) 准教授の場合は、著書（単著）1冊以上または論文10編（うちレフェリー付き論文3編以上を含む）以上の業績を有すること。

助教の場合は、論文3編以上の業績を有すること。

なお、いずれの場合も、広島大学における教員の採用最低基準（分野別）を満たすものとする。

※広島大学では教員の分野ごとに採用最低基準を定めています。人事選考過程の第一次選考において本基準を適用し、最低基準を満たさない候補者を選考から除外いたします。

- (3) 日本語で教育・研究指導および学内業務ができること。
- (4) 大学院博士課程前期における教育・研究指導ができること。
- (5) 和古書の扱いに習熟していること。

8. 応募書類

- (1) 履歴書（別添様式を使用、写真貼付）。過去5年間に広島大学で雇用（TA、RA、研究員等を含む）されたことがある場合は、漏らさず記載してください。
- (2) 研究業績一覧（各研究業績に番号を付け、審査付論文の番号にはアンダーライン、主要研究業績5点には番号の冒頭に*印を付けること。）
- (3) 主要な研究業績5点（別刷又はコピー、著書）
- (4) 教育上の主要な業績
- (5) 社会貢献に関わる主要な業績
- (6) 大学等における管理運営に関わる主要な実績
- (7) 最近5年間における外部資金の獲得状況
- (8) 研究・教育に対する抱負と中長期計画（2,000～3,000字）
- (9) ResearcherIDまたはORCID情報（様式任意）

※Clarivate Analytics社またはORCID webページより取得が可能。

※上記記(1)～(9)の応募書類は、紙媒体と電子ファイル（WordファイルまたはPDFファイル、CD-ROMまたはUSBメモリに保存）の両方を提出すること。ただし、研究業績の現物のうち書籍については、この限りでない。

9. 応募期限

2022年9月16日（金）17:00（日本標準時）（必着）

10. 応募書類送付先

〒739-8522 広島県東広島市鏡山一丁目2番3号

広島大学大学院人間社会科学研究科人文学プログラム長 友澤 和夫

※封筒の表に「大学院人間社会科学研究科人文学プログラム（平安朝日本文学）教員応募書類在中」と朱書し、書留郵便で送付してください。

11. 選考方法

(1) 書類審査

(2) 必要に応じて面接を行うことがあります。面接を行う場合は、原則として、日本語による模擬授業を行います。ただし、交通費等は支給できませんので、あらかじめ御了承ください。なお、書類審査通過者に面接を行う場合は、その形式について、別途連絡します。

(3) 広島大学は、男女共同参画を推進しています。本学は、「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、業績（研究業績、教育業績、社会貢献等）及び人物の評価において同等と認められた場合は女性を採用します。

12. 勤務形態

(1) 勤務時間 8:30～17:00（月～金）、休憩時間 12:00～12:45（専門業務型裁量労働制の適用に同意した場合は、1日7時間45分働いたものとみなされます。）

(2) 勤務日は、原則として月曜日から金曜日（祝日を除く。）です。

(3) 休日は、原則として土曜、日曜、祝日となります。

13. 給与等

(1) 採用となった方には、年俸制（II）（2021年10月施行）が適用されます。

(2) 採用となった方には、本学の規則に基づき、採用に伴う旅費を支給できる場合がありますのでお問い合わせください。

※本学は、競争的研究費や共同研究費などの直接経費から研究者の人件費を支出することにより、確保された財源を研究者自身の処遇改善（給与の上乗せ）や研究環境改善に活用できる仕組みを導入し、研究者が安心して研究に集中できる環境を整備しています。

14. 評価

本学の教員には、採用以降の業務実績について個人評価を行い、その結果を点数化し、処遇へ反映します。

15. 募集者名

国立大学法人広島大学

16. その他

(1) 試用期間：あり（6月間）

(2) 応募書類により取得する個人情報は、採用者の選考及び採用後の人事・給与・福祉関係に必要な手続に利用するものであり、この目的以外で利用又は提供することはあ

りません。なお、採用に至らなかった方の応募書類は、当該採用選考業務終了後、適切な方法にて返却いたします。

- (3) 広島大学では全ての大学教員は「学術院」に所属し、学部、研究科、研究院、病院などの教育研究組織に配属されます。
- (4) 配属された教育研究組織の教育・研究に従事することになりますが、他の教育研究組織の教育・研究、全学事業を担当することもあります。
- (5) 広島大学では教員の分野ごとに採用最低基準を定めています。人事選考過程の第一次選考において本基準を適用し、最低基準を満たした方を選考対象といたします。本公募で適用する採用最低基準は以下の URL に掲載しています。
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/employment/kyoinkobo/>
- (6) 広島大学では本人事以外にも本学の求人情報（研究職、事務職等）を提供しています。配偶者が就業を希望される場合等にご参照ください。
求人情報：<https://www.hiroshima-u.ac.jp/employment>
- (7) 「男女雇用機会均等法」第8条（女性労働者に係る措置に関する特例）の規定により、女性教員の割合が相当程度少ない現状を積極的に改善するための措置として、女性研究者に限定した公募を実施します。
- (8) 広島大学は、2020年1月からキャンパス内全面禁煙となっています。

17. 問い合わせ先

広島大学大学院人間社会科学研究科人文学プログラム教授 久保田 啓一

TEL:082-424-6670

E-mail:kekubota@hiroshima-u.ac.jp

Hiroshima University (HU) herewith makes an open international job offer and seeks to appoint Associate Professor with tenure; Associate Professor/Assistant Professor on Tenure Track System in the research area of Japanese literature in the Heian period. This position is based on the 'Policy for recruiting/cultivating excellent faculty members'. The university introduced this policy to create a secure environment in which junior-positioned faculty members can concentrate on their research/education.

The post above has been newly created at HU to enable the promotion of the applicant to the senior position of Associate Professor on the condition that he/she passes the tenure-track review before the tenure-track period expires. Such a system assumes that the recruited person will settle down in one place so that he/she can dedicate himself/herself to research and education in accordance with his/her proposed research.

Therefore, when processing an application for recruitment, we evaluate not only each applicant's performance on research/education, but also the contents and the scope of his/her research plan. Thus, we assess whether or not the applicant's research plan is mid-to-long term (i.e. about 10 years) in scope, exceeding the tenure-track period. At the time of the review for the tenured promotion, we comprehensively evaluate the applicant's achievements during his/her term at HU and the future prospect of his/her research.

HU provides startup support money for assistant professors. By assigning a mentor to each newly-recruited faculty member on tenure track, HU continues to develop an environment where such faculty member can engage himself/herself in research activities independently. In case the recruited member does not secure tenure, he/she will be able to extend his/her term of employment for up to one year as a specially appointed faculty member. The special appointment starts on the day following the end date of the existing employment contract for the tenure-track position.

We are looking forward to welcoming those who are prepared to go along with the principles, long-term vision and medium-term target of HU (<https://www.hiroshima-u.ac.jp/en/about>), and who are motivated and can play key roles by committing themselves to research and education at HU.

Mitsuo Ochi, President of Hiroshima University

Please refer to the following URL for details about personnel system reform of Hiroshima University.

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/en/employment/kyoinkobo>

Date: July 28,2022

Faculty Open Position(s)

1. Affiliation (Appointment)

Academy of Hiroshima University (Graduate School of Humanities and Social Sciences)

2. Position(s) and the number of opening(s)

Associate Professor or Assistant Professor , one (1)

(Depending on the result of the performance reviews of the applicant at the time of employment, he/she may be decided on any of the following titles: Associate Professor with tenure; Associate Professor/Assistant Professor on Tenure Track System)

3. Commencing date of employment

April 1,2023

4. Terms of employment

Tenure-track position(s) Period of employment

- 7 years (in case that tenure-track Associate Professor gets promoted to tenured Associate Professor)
- 5 years (in case that tenure-track Assistant Professor gets promoted to tenured Associate Professor)

- (1) Tenure-track faculty members will undergo a tenure review at least six (6) months or more in advance of the expiration date of appointment, and those who have successfully passed the review process will be granted tenure along with promotion either to associate professor.
- (2) Granting a candidate for tenure is subject to two reviewing process: an intermediate and final review. If a candidate is not granted tenure in final review, he/she will be dismissed from the university upon completion of the term of appointment.
- (3) If a candidate has taken a leave because of some life events such as delivering a baby, child-raising and caregiving, he/she may extend the term of appointment up to certain period according to the length of such leave.

5. Field of specialization

Japanese literature in the Heian period

6. Teaching responsibilities

- (1) Undergraduate level (general education courses): Introductory Seminar for

FirstYear Students, etc.

- (2) Undergraduate level (discipline specific courses): Surveys of Japanese Ancient and Medieval Literature, Methods of Research on Japanese Ancient and Medieval Literature, Seminar on Japanese Ancient and Medieval Literature I /II, Special Seminar on Japanese Literature A/B, etc.
- (3) Graduate level (master's programs): Study of Japanese Classical Literature A/B, Reading Japanese Classical Literature A/B, Special Research, etc.
- (4) Graduate level (doctoral programs): Special Research, etc.
- (5) In addition to the courses listed above, he or she may be asked to teach other general education courses and/or discipline specific courses in other department(s) and graduate school(s).

7. Qualifications

Applicants must satisfy all of the following requirements:

- (1) Hold a doctorate or an equivalent degree by the time the appointment begins
- (2) ● Hold more than one book (monograph) published and/or more than published ten academic papers (including more than three refereed papers) (in the case of Associate Professor)

● Hold more than published three academic papers (in the case of Assistant Professor)

In addition to each position requirement described above, the applicant has to fulfill the Hiroshima University minimum standard, depending on the relevant field.

* For each specialized field of faculty, Hiroshima University has defined Minimum standards for hiring new faculty ("the minimum standards"). We use the minimum standards for the initial screening process of the applicants, and only those who have cleared the minimum standards will qualify as the candidates for the post concerned. The minimum standards used for this international job offer can be viewed by clicking the following URL link.

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/employment/kyoinkobo/bungaku>

- (3) Applicants who are non-native speakers of Japanese must have the level of Japanese language proficiency necessary for them to be able to carry out their responsibilities and administrative duties effectively.
- (4) Ability to conduct classes and supervise the graduate student
- (5) Ability to deal with Japanese classical literal materials

8. Application materials required

- (1) Resume (use the specified forms as shown on the website / Please remember to attach your photo on the CV)

If you have a history of being employed by Hiroshima University (as a TA, RA, researcher, etc.) in the past five years, be sure to state all positions you have held.

- (2) List of publications and oral presentations (Number each publication/presentation, and underline the numbers of refereed articles. Affix an asterisk (*) to the numbers of your five major publications or presentations.)
- (3) Five major publications or presentations (Reprints, photocopies, or books)
- (4) Major educational activities and teaching experience
- (5) Major social contributions
- (6) Major activities in university/institutional management and administration
- (7) List of acquired external funding over the last five years
- (8) Statement of intent (Please describe your interests in teaching and research as well as your mid- to long-term research plan in approximately 2,000-3,000 words, should you take this position.)
- (9) Your Researcher ID or ORCID information (in any format)

N.B. The ID above or ORCID information can be confirmed from Clarivate Analytics or ORCID website.

*All of the documents should be in Japanese. Applicants are requested to submit all documents in Word or PDF files on a CD-ROM or a USB memory stick, in addition to the hardcopies outlined above.

9. Application deadline

All application materials must reach us by [5:00 pm on Friday September 16,2022 (Japan time)].

10. Please send all application documents to the following address

Dean, Hiroshima University Graduate School of Humanities and Social sciences (Humanities program), Kazuo Tomozawa --- Kagamiyama, Higashi-hiroshima 739-8522, JAPAN * Print in red "Application documents for faculty open position in the Graduate School of Humanities and Social sciences, Humanities program, Japanese literature in the Heian period " on the envelope containing the application documents and send it by registered mail.

11. Selection procedure

- (1) Selection will be made based on all application documents submitted.
- (2) Interviews will be conducted as needed. As a general rule, we will conduct simulated lessons in Japanese. In such cases, please note that travel expenses will be the responsibility of the applicant. Applicants who pass the initial document review will be informed of interview date, time and format.
- (3) Hiroshima University promotes a gender-equal society in accordance with the legislative intent of the Basic Law for a Gender-Equal Society.

12. Employment status

- (1) If you are agreeable to the application of the Discretionary Labor System for Professional Work, you are deemed to work for 7 hours and 45 minutes a day. If not, working hours are from 8:30 to 17:00 (from Monday to Friday) and break time is from 12:00 to 12:45.
- (2) Workdays are from Monday to Friday (excluding public holidays) in principle.
- (3) Holidays are Saturdays, Sundays and public holidays in principle.

13. Salary, etc.

- (1) The annual salary system (II) which enforced in October 2021 will be applied to the successful candidates.
- (2) Successful candidates may be reimbursed for travel expenses incurred for the trip from their home or former place of work to the new place of work to assume their post in accordance with the relevant regulations of Hiroshima University. For more information, please contact us.

※Hiroshima University has introduced a system whereby researchers' personnel expenses are paid out of direct expenses such as competitive research grants and joint research grants, and the obtained research financial resources can be used to improve the treatment of researchers themselves (additional Salary) and to improve the research environment.

14. Evaluation

We conduct individual performance evaluations for all Hiroshima University faculty members after their employment, numerically rate their performance, and salary and benefits are commensurate with performance indicators.

15. Employer

Hiroshima University

16. Miscellaneous

- (1) Probationary employment period: six (6) months
- (2) Personal information obtained from application documents will not be used or provided to any third party for purposes other than the necessary procedures related to personnel affairs, salary, and welfare. Application documents of applicants whom we have decided not to employ will be returned to those applicants in an appropriate manner, after the completion of relevant selection processes.
- (3) All the faculty members of Hiroshima University belong to the "Academy", which

is the single university-wide faculty organization, and each faculty as a member of the Academy of the University is appointed to educational and/or research organizations such as an individual undergraduate school, graduate school, research center and institute.

- (4) Faculty members may also be assigned to teaching and/or research activities in other organizations of Hiroshima University and university-wide projects.
- (5) For each specialized field of faculty, Hiroshima University has defined Minimum standards for hiring new faculty (“the minimum standards”). We use the minimum standards for the initial screening process of the applicants, and only those who have cleared the minimum standards will qualify as the candidates for the post concerned. The minimum standards used for this international job offer can be viewed by clicking the following URL link.
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/en/employment/kyoinkobo/>
- (6) HU provides other employment information (research job, desk job and etc.). If your spouse wishes to work for HU, please refer to the following URL link.
employment information: <https://www.hiroshima-u.ac.jp/en/employment/>
- (7) In accordance with the provisions of Article 8, “Special Provisions of Measures Pertaining to Women Workers,” of the Equal Employment Opportunity Law for Men and Women, an open recruitment limited to female researchers is conducted as one measure to actively increase the current low ratio of female faculty members.
- (8) Hiroshima University has been entirely smoke-free from January 2020.

17. Contact (Japanese only)

Prof. Keiichi Kubota

University Graduate School of Humanities and Social Sciences, Humanities program

Tel: 082-424-6670

E-mail: kekubota@hiroshima-u.ac.jp

日本語専門家募集(高雄)

日本台湾交流協会においては、日本語専門家を台湾に派遣し日本語教育に関する業務を実施しております。

この度、高雄事務所に派遣する日本語専門家の募集を行いますので、希望者は下記要領に従い御応募ください。

記

1. 勤務先：当協会高雄事務所

(台湾高雄市苓雅区和平一路 87 号 9 階 南和和平大樓)

2. 主な業務内容：

- ①当協会が実施する日本語教育支援事業（台湾の日本語教師に対する教師研修の実施、日本語教授法等に関する助言、現地日本語教師間のネットワーク作り、日本語教育事業の一環としての日本文化紹介事業等）の企画・運営事務等の全般（※）
- ②日本語教育機関・関係者等に対する助言及び企画協力
- ③日本語教育機関・関係者等に関する情報収集・報告書作成
- ④台湾での日本語教育に資する広報活動（事務所ホームページや SNS での発信）
- ⑤その他台湾における日本語教育普及に資する事業全般に関わる業務
- ⑥当協会高雄事務所が実施する文化交流事業等の補助的業務
- ⑦当協会が依頼する少人数での日本語講座

※当協会日本語専門家の主要業務は、日本語授業の担当ではなく、主に台湾の日本語教師への助言・指導、カリキュラム編成や教材作成等についての支援となります。同業務には、外部講師を招いての日本語教育研修会等のアレンジや各種手配を含め、多くの事務的な業務が含まれます。

3. 派遣時期：2023年3月中下旬以降出来るだけ早い時期（予定）

4. 契約期間：採用日より2024年3月末日まで（延長あり）

（2024年4月1日以降の契約については、採用者の勤務成績、勤務態度、業務遂行能力等を当協会が総合的に判断した上で、契約更新するか否かを検討します。総合的に判断した結果、更新しない場合があります。契約を更新する場合

は1年毎、契約更新の限度は最大2回までとなっています。)

5. 待遇：日本語専門家の旅費・給与等は、当協会規定に従って格付けし、次の通り支給します。

①旅費

- ・赴任時及び帰国時の旅費（航空賃、支度料、移転料等）
- ・専門家が同伴する（或いは呼び寄せる）扶養家族の旅費（但し、扶養家族の滞在が6ヶ月を越える場合に限る）

②給与等

- ・派遣期間中の本俸、在勤手当、住居手当、子女教育手当等。

※参考例：規定改正等により金額に変更が生じる可能性があるため、あくまで目安額程度とお考えください。

本俸約30万円、在勤手当約45万円、住居手当上限約2,000米ドル（20.8%自己負担）、子女教育手当8,000円～（3歳以上の同伴子女へ支給）

6. 応募資格：以下①～⑦を全て満たす者。

- ①日本国籍を有し、日本語を母語とする者。
- ②心身ともに、任期を通じて、海外での業務遂行に支障がない状態であること。
- ③大学院修士課程（日本語関係）以上の学歴を有する者。
- ④中等・高等教育機関、日本語学校等の日本語教師（非常勤を含む）として原則として、通算10年以上勤務した経験があること（海外勤務及び海外日本語教師支援業務経験が望ましい。ただし、個人教授を除く）。
- ⑤2023年3月中下旬以降（予定）できるだけ早い時期より勤務可能な者。
- ⑥中国語能力、または中国語を学習する意欲がある者。
- ⑦当協会高雄事務所の一職員として、諸規則を守り、上司の指示に従い、誠実に自己の職務を遂行する意思のある者。事務所が実施する事業にその他の職員と協力して積極的に関わる意欲がある者。

7. 応募方法：

(1) 応募用紙の提出方法について

2022年9月20日(火) (必着) までに、日本語専門家応募用紙をダウンロードし、必要事項を入力の上（応募用紙のダウンロードはこちら）当協会東京本部（下記12.の申込み先）宛にメール添付で送付してください。

(2) メール添付で応募用紙を提出する際の注意事項

- ①件名は、「【日本語専門家応募用紙の提出】：氏名（フルネーム）」と入力して

ください。

②応募用紙は、入力処理後、PDF ファイルにしてデータをお送りください。

③ファイル名は、氏名（※ローマ字）としてください。

(3) 推薦書について

①推薦書（書式自由）は、推薦者ご本人が（下記12.の申込み先）宛にメール添付で送付して下さい。

なお、件名は、【日本語専門家：応募者氏名の推薦書】としてください。

※「応募者氏名」には、応募者の氏名をフルネームで入力してください。

②推薦書のファイル形式はPDF ファイルでお送りください。

※応募者からの送付は、受理できませんので、御注意ください。

※メール添付で、応募用紙、推薦書をお送りいただいた後、受取確認のメールをお送りします。受取確認メールが受信されなかった場合は、本部宛お電話にて御連絡ください。

※提出いただいた個人情報、応募者の合否の決定および採用後の手続のみに利用します。

8. 選考方法：上記応募書類による書類選考後、書類選考通過者に対し、面接試験等を実施します。なお、応募者への結果通知は、結果通知書を添付した E-mail をお送りします。

9. 面接試験等：2022年10月中旬を予定

※新型コロナウイルスの流行状況等により、実施時期が変動することがあります。

10. 試験場所：

日本在住者：日本台湾交流協会東京本部

台湾在住者：日本台湾交流協会高雄事務所

※現在日本又は台湾以外に居住している方など、東京または台湾（高雄）で試験を受けることが難しい方は、WEB 面接を実施します。

11. 試験内容：面接試験を予定

（筆記試験を実施する場合があります。）

※詳細につきましては、書類選考通過者に対して、別途ご連絡いたします。

12. 申込み先：公益財団法人 日本台湾交流協会 総務部 加藤
〒106-0032 東京都港区六本木3-16-33 青葉六本木ビル7F
電話番号：03-5573-2606（内線27）
E-mail:jtea-k1#k1.koryu.or.jp

※スパムメール防止のため@を#に変えて表記しています。

※メールでお問い合わせいただく際は、件名に【日本語専門家】と入力してください。

13. 合否発表：2022年10月下旬までに、面接等受験者に対し、お知らせいたします。

《公益財団法人 日本台湾交流協会について》

公益財団法人日本台湾交流協会は、1972年の日台間の外交関係の終了に伴い、実務レベルでの交流関係を維持するため、台湾在留邦人及び邦人旅行者の入域、滞在、子女教育及び日台間の学術・文化交流等につき、各種の便宜を図ること、我が国と台湾との貿易、経済、技術交流等の諸関係を円滑に遂行することを目的として、外務省・経済産業省の共管により設立されました。東京本部のほか、台北事務所・高雄事務所を有し、邦人保護、査証発給、経済・文化交流、台湾側各界との調整及び各種調査事業等、我が国の在外公館が行う業務に類する役割をそれぞれ果たしております。

日本語専門家応募用紙

(20 年 月 日現在)

写 (裏に氏名を 記入のこと) 真 (3ヶ月以内に 撮影のもの)	(ローマ字) 氏 名 (漢 字)		男・女
	生年月日	19 年 月 日 (現在 歳)	
	現住所	〒 - (TEL) (FAX)	
	現住所が国外の場合、日本国内の住所	(E-mail) 〒 - (TEL) (FAX)	連絡先名

現在の勤務先の名称、連絡先(住所、TEL)、職名(常勤、非常勤の別等)

学 歴 (高校卒業以降)	在学期間	種別	①学校名(学部、学科、専攻)、②卒論等(学位論文)名と内容を記載すること
	年 月 ~ 年 月 卒業・中退	大学 大学院 その他	
	年 月 ~ 年 月 卒業・中退	大学 大学院 その他	
	年 月 ~ 年 月 卒業・中退	大学 大学院 その他	
	年 月 ~ 年 月 卒業・中退	大学 大学院 その他	

職 歴 (大学卒業時より現在まで)	年 月 ~ 年 月	年 月	
	年 月 ~ 年 月	年 月	
	年 月 ~ 年 月	年 月	
	年 月 ~ 年 月	年 月	
	年 月 ~ 年 月	年 月	
	年 月 ~ 年 月	年 月	
	年 月 ~ 年 月	年 月	
	年 月 ~ 年 月	年 月	
	年 月 ~ 年 月	年 月	
	年 月 ~ 年 月	年 月	
	年 月 ~ 年 月	年 月	
	年 月 ~ 年 月	年 月	
	年 月 ~ 年 月	年 月	

西暦を用いて記入すること。

氏名

応募の動機：台湾において日本語教育に従事したい理由、抱負等。

赴任可能時期（〇月〇日～、〇月上旬・中旬など）

本募集を何によって知ったか。

当協会 HP 日本語教育学会 HP 大学の掲示板・HP 友人・知人から

その他（ ）

個人情報の取り扱いについて

公益財団法人日本台湾交流協会（以下、「当協会」という）は日本語専門家の募集に伴い、応募いただいた皆様（以下、「応募者」という。）から取得する個人情報の重要性を認識し、下記事項に準拠し、細心の注意をもって管理を行い、適切な取り扱い及び保護に努めます。また、応募いただいた場合には、個人情報に関する当協会の取扱いをご了解いただいたものと理解いたします。

記

（１）個人情報の取得と利用について

当協会は、日本語専門家の採用試験を実施する際の判断をする目的のために応募者の個人情報を取得しています。この目的以外に応募者の個人情報を利用することはありません。

（２）個人情報の第三者提供について

当協会は、以下の場合を除き、取得した応募者の皆様の個人情報を第三者に提供することはありません。

- ①法令に基づく場合。
- ②応募者の生命、健康、財産などの重大な利益を保護するために必要な場合。
- ③語学・一般教養及び適性検査の採点を行う場合。
- ④語学及び面接の試験官が採用試験で選考資料として用いる場合。

（３）個人情報の管理について

当協会が取得した応募者の個人情報は、当協会内において厳重に管理し、不正アクセス、紛失、破壊、改ざん及び漏洩などの個人情報に関するリスクに対して予防措置及び是正を含むセキュリティ対策を講じております。採用試験の終了に伴い、当協会に登録する場合を除いて当協会の管理責任の元で適切に廃棄・消去いたします。

（４）個人情報提供の任意性について

当協会へ提供いただいた個人情報は任意です。ただし、必要な情報を提供いただけない場合には、受験のための書類選考が出来ない場合がありますので、予めご了承下さい。

（５）個人情報の開示・訂正・削除について

当協会は、提供いただいた個人情報について、応募者本人であることを確認できた場合に限り、合理的な範囲内でお問い合わせに応じるものとします。ただし、応募の可否についてのお問い合わせには一切お答えできませんのでご了承下さい。

2022年8月吉日

日本語教育関係ご担当者様
キャリアセンターご担当者様

公益財団法人 日本台湾交流協会

日本語専門家募集のご案内

拝啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

当協会は、昭和47年、日中国交正常化に伴って外交関係が終了しました台湾との実務レベルでの交流関係を維持するため、外務省と経済産業省の認可を受け財団法人として設立されました。その後、総理大臣の認定を受け、2012年4月1日に公益財団法人に移行、また2017年1月1日をもって、公益財団法人日本台湾交流協会に名称変更いたしました。主に邦人保護、貿易・経済・文化交流等の事業を行っております。

台湾には台北・高雄事務所を設置し、外交関係の無い日台間に於いて、それぞれ大使館・総領事館と同様の役割を果たしております。

さて、当協会では、日台間の相互理解を深めるため、現地両事務所に日本語専門家を派遣し、日本語教育普及支援に努めておりますが、この度、高雄事務所の日本語専門家を募集することとなりました。

つきましては、募集案内を同封致しますので、当協会の日本語専門家派遣にご興味のある皆様に広報いただきたく、よろしく願いいたします。

なお、当協会ホームページの「公募」ページに募集案内を掲載しており、日本語専門家応募用紙をダウンロードすることができます。

【募集案内掲載ページ】

<https://www.koryu.or.jp/news/recruit/?itemid=2958&dispmid=4264>



敬具

公益財団法人 日本台湾交流協会
〒106-0032 東京都港区六本木 3-16-33 青葉六本木ビル 7階
Tel:03-5573-2606 (内線 27) Fax:03-5573-2601
担当：総務部 加藤視也

財京埋第21号
令和4年8月10日

大学就職支援 御担当者 各位

公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所

所長 井上 満郎

担当：管理課 宮崎弘司

電話 075-415-0521

Fax 075-431-3307

時下ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、当研究所では、令和5年4月1日採用予定の技術職員の募集をいたしております。

当研究所は、長い歴史と数多くの文化財を有する京都市内をフィールドとする埋蔵文化財の調査・研究・収蔵・展示及び普及啓発を行っている公益財団法人です。

京都市内には、平安京跡など我が国の歴史上著名な遺跡があり、それを調査することを目的に、京都市により昭和51年に設立された、長い実績と経験を有する調査研究機関です。

つきましては、埋蔵文化財の発掘調査現場を担当する職業に就きたいと希望しておられる学生・大学院生や卒業生の方がおられましたら、ぜひ御紹介賜りますよう、お願い申し上げます。

記

- 1 公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所の業務内容につきましてはホームページを御覧ください。併せて募集要項及び試験申込書もダウンロードできます。

【URL】 <http://www.kyoto-arc.or.jp>

- 2 募集期間は、令和4年8月10日（水）から10月14日（金）までです。

令和5年4月採用
公益財団法人

京都市埋蔵文化財研究所

職員採用選考試験

実施要項（技術職員）

1 採用予定人員・勤務先・受験資格等

募集職種及び採用予定人数	○調査員（職員） ○調査員（雇用期間付職員） } 若干名
雇用期間付職員の雇用期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日 ただし、 ・勤務成績が優秀で、かつ、理事長が特に認めた場合は、通算3年を限度として更新することができます。 ・採用後に行う内部登用選考に合格した場合は、正規職員に転換することができます。
勤務先	公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所事務所及び市内各調査対象地等の事務所
職務内容	京都市内における埋蔵文化財の発掘調査及び整理作業の指導並びに調査報告の作成業務のほか、普及業務等を担当します。
受験資格	【次の各号のいずれかに該当する方】 (1) 学校教育法に基づく大学（大学院を含み、短期大学を除く。）において、歴史学、考古学、その他これらに類する学科等の課程を卒業（修了）した方又は令和5年3月末までに卒業（修了）する見込みの方 (2) 上記(1)と同等以上の学力を有する方 (3) 国、地方公共団体、公益法人、大学、その他の調査研究機関において、埋蔵文化財の発掘調査の経験を有する方 【年齢要件】 昭和38年（1963年）4月2日以降に生まれた方

※ ただし、次の各号のいずれかに該当する方は除きます。

- (1) 成年被後見人又は被保佐人
- (2) 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるま

での者

- (3) 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法及びその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又は加入した者

2 採用予定日

令和5年4月1日

3 選考試験

次の方法により行います。

- (1) 第1次選考（書類選考）

提出された関係書類により選考のうえ、令和4年10月24日（月）以降に、応募者全員に結果を通知します。

- (2) 第2次選考（筆記試験、実技試験、適性検査）

選考日時	令和4年11月6日（日）午前9時30分から	
選考方法	筆記試験 （約80分）	当研究所の職員として必要な専門知識、能力等について試験を行います。 <出題分野>歴史学、考古学等
	実技試験 （約70分）	当研究所の職員として必要な技術等について実技試験（遺物実測）を行います。
	適性検査 （約130分）	当研究所の職員として必要な適性を検査します。
選考会場	京都市職員会館かもがわ（別添図参照） （京都市中京区土手町通夷川上る末丸町284）	
合格発表	令和4年11月18日（金）以降に第2次選考受験者全員に郵送で結果を通知します。	

※詳細は、第1次選考の結果通知書でお知らせします。

- (3) 第3次選考（口述試験）

試験日時	試験方法	試験会場	合格発表
令和4年 12月4日（日） 午前10時開始予定	口述試験 （面接）	京都市考古資料館 3階 会議室 （別添図参照）	令和4年12月中旬に第3次選考受験者全員に郵送で結果を通知します。あわせてホームページにも合格者の受験番号を公開します。

※具体的な時間等の詳細は、第2次選考試験の結果通知書でお知らせします。

4 給 与

初任給は、大卒者が211,090円程度、修士課程修了者が222,420円程度です。

（上記の給与額は、地域手当含む。令和5年4月見込み額）

なお、職歴がある場合などは、一定の基準により加算されます。

その他、扶養手当、住居手当、通勤手当、期末・勤勉手当等が要件に応じて支給されます。

令和5年4月採用 公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所 No.1
 職員採用選考試験申込書

受付月日	※ 月 日	No	
------	-------	----	--

私は、公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所職員採用選考試験を受験したいので申し込みます。

第1志望		第2志望	
職員		雇用期間付職員	
雇用期間付職員		希望しない	

※第1志望，第2志望の右の欄に○印を記入してください。

なお、私は、この試験に必要な受験資格をすべて満たしています。
 また、この申込書すべての記載事項に相違ありません。

写真貼付欄
 写真は、申込前6箇月以内に撮影したもので、脱帽・上半身・正面向き、4×3cmの、本人と確認できるものを貼ってください。
 写真の裏には必ず氏名を記入してください。

令和 年 月 日 本人署名 ⑩

フリガナ		生年月日	昭和・平成 年 月 日
氏名		年齢	令和5年4月1日現在 (歳)
現住所(寮・下宿・アパート等の場合は、何々方まで詳しく記入してください。) 電話 ()・携帯電話 ()・Eメールアドレス () (〒 -)			
連絡先(帰省先等)の住所 (現住所以外に連絡を希望する場合のみ記入すること。) (〒 -)・電話 ()・携帯電話 ()			
学歴	学校名(学部学科)	在学期間	中退・卒業・修了・在学中
	最終	年 月～ 年 月	
	その前	年 月～ 年 月	
	その前	年 月～ 年 月	
職歴	勤務先名(部課名)	在職期間	職名及び勤務内容
資格・免許			

※印の欄以外は、すべて記入してください。

職員採用選考試験申込書

調査歴・報告書執筆歴・論文等執筆歴

※卒業論文、修士論文については必ず記入してください。

フリガナ	
氏名	

主な発掘調査歴	遺跡名 (所在地)	調査従事期間	調査機関名	調査時の業務内容
報告書等執筆歴	発行年月日	報告書名	執筆内容 〔分担執筆の場合は、 分担執筆の箇所〕	発行機関
	昭和 平成 令和	年 月 日		
	昭和 平成 令和	年 月 日		
	昭和 平成 令和	年 月 日		
	昭和 平成 令和	年 月 日		
	昭和 平成 令和	年 月 日		
	昭和 平成 令和	年 月 日		
	昭和 平成 令和	年 月 日		
	昭和 平成 令和	年 月 日		
論文等執筆歴	発行年月日	論文等の名称	執筆内容	提出先 又は 掲載誌名
	昭和 平成 令和	年 月 日		
	昭和 平成 令和	年 月 日		
	昭和 平成 令和	年 月 日		
	昭和 平成 令和	年 月 日		
	昭和 平成 令和	年 月 日		
	昭和 平成 令和	年 月 日		
	昭和 平成 令和	年 月 日		

※書ききれない場合は、この用紙をコピーして記入してください。

5 応募手続及び申込受付期間

申込先	<p>公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所 管理課</p> <p>所在地 〒602-8435</p> <p>京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町265番地の1</p> <p>電話 (075) 415-0521</p>
申込書 請求方法	<p>(1) 当研究所のホームページからダウンロードする。 ホームページアドレス http://www.kyoto-arc.or.jp</p> <p>(2) 上記申込先に来所。</p> <p>(3) 郵送で請求する。この場合は、封筒の表に「職員採用選考試験申込用紙請求」と朱書のうえ、あて先を明記し、84円切手を貼った返信用封筒（定形長形3号（12×23.5cm程度）を同封してください。</p>
申込方法	<p>申込書に必要事項を記入し、本人の写真（申込書の注意を厳守のこと。）を貼り、次の書類各1部を添えて持参又は郵送にて提出してください。</p> <p>申込書を郵送する場合は、必ず簡易書留とし、封筒の表に「受験書類在中」と朱書してください。なお、申込時の書類は、一切返却いたしません。</p> <p>(1) 最終学校卒業（見込）証明書 大学院修了（見込）の場合は、大学の卒業証明書及び大学院の修了（見込）証明書を添付してください。</p> <p>(2) 最終学校成績証明書（全学年記入のもの） 大学院修了（見込）の場合は、大学及び大学院の成績証明書を添付してください。</p> <p>(3) 歴史学、考古学等に関する論文（卒業・修士・博士論文を含む）を提出してください。また、発掘調査報告書を作成したことがある場合は当該調査報告書も提出してください。なお、論文・報告書等の作成を分担した場合は担当部分についての説明を、論文未作成の在学中の学生は論文要旨を提出（いずれも様式自由 A4判 横書 800字程度）してください。</p>
受付期間	<p>令和4年8月10日（水）から令和4年10月14日（金）まで。</p> <p>持参の場合は、午前9時から午後5時まで（管理課へ）。土・日曜日、祝日は不可。</p> <p>郵送の場合は、<u>令和4年10月14日（金）までに必着のこと。</u></p>

6 応募についての問合せ先

公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所 管理課

電話 (075) 415-0521 Fax (075) 431-3307

住所 〒602-8435 京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町265番地の1

(別紙)

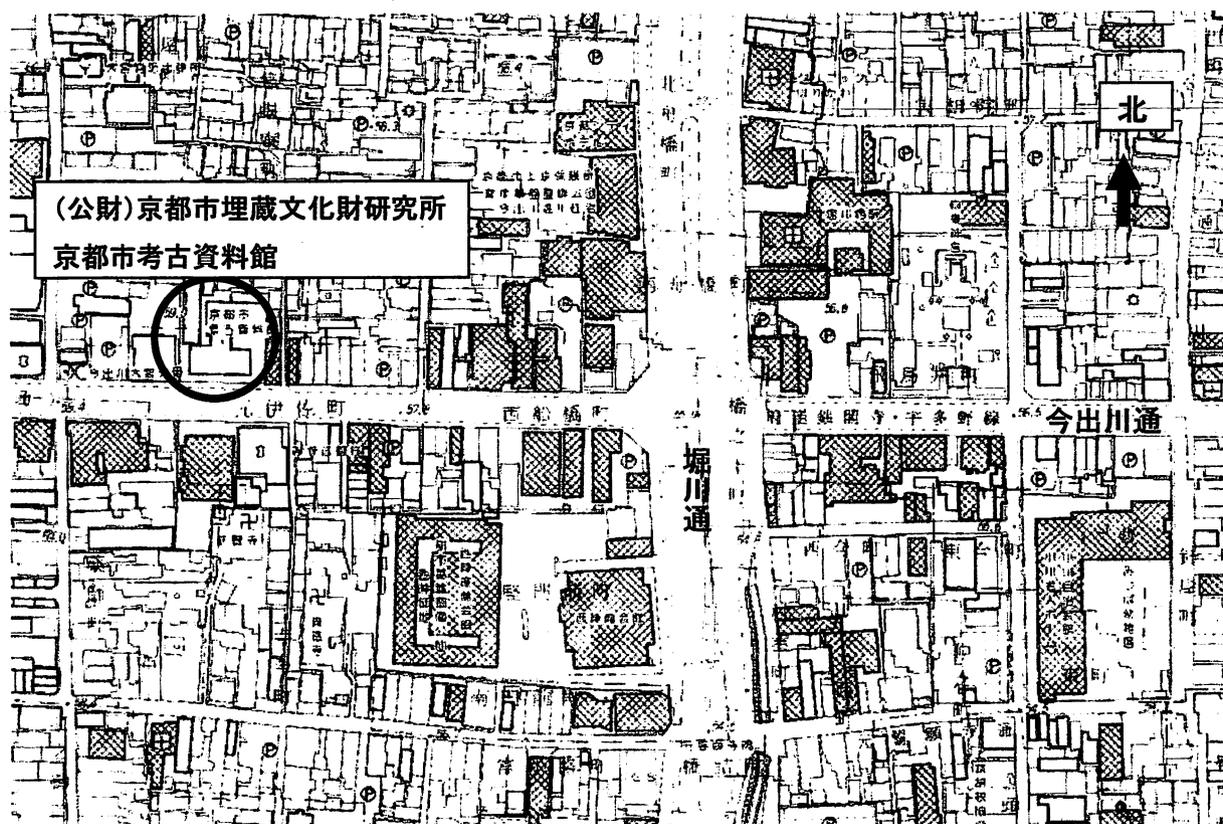
試験会場のご案内 (第3次選考)

[名称] 公益財団法人 京都市埋蔵文化財研究所・京都市考古資料館

[会場] 京都市考古資料館 3階会議室

[住所] 京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町 265-1

[電話] 075-415-0521 [FAX] 075-431-3307



公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所と京都市考古資料館は、同じ敷地内にあります。
試験会場には駐車場はありません。バス・電車など公共交通機関をご利用ください。

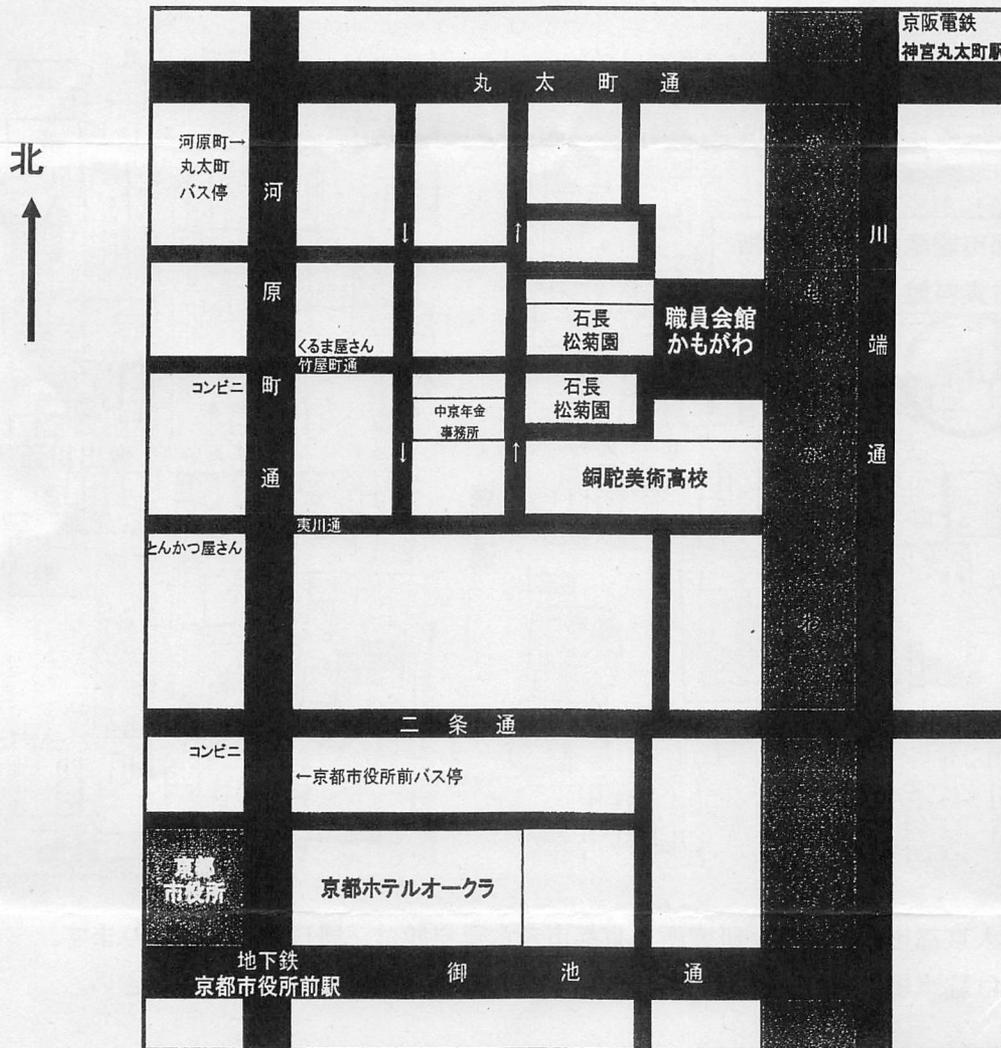
【アクセス】 京都駅からは地下鉄烏丸線「今出川駅」下車 今出川通を西へ徒歩 15分
市バス利用の場合は烏丸今出川から市バス西行き 59・201・203号で
[今出川大宮]下車
京阪出町柳駅から、西行き市バス 201・203号で[今出川大宮]下車
阪急大宮駅から、北行き市バス 201号で[今出川大宮]下車

(別紙)

試験会場のご案内 (第2次選考)

(試験会場) 一般財団法人 京都市職員厚生会 職員会館かもがわ (2階会議室)

(住所) 〒604-0901 京都市中京区土手町通夷川上る末丸町 284
電話 075-256-1307



【アクセス】

京阪電車ご利用の方 神宮丸太町駅下車 徒歩7分
京都市営地下鉄ご利用の方 京都市役所前(東西線)下車 徒歩10分
市バスご利用の方 京都駅方面から 205又は17系統にて河原町丸太町下車 徒歩5分
北大路方面から 37又は205系統にて河原町丸太町下車 徒歩5分
タクシーご利用の場合 ドライバーに「河原町竹屋町を鴨川に向かって入ってください」とお伝えください。
または「石長松菊園」とお伝えください。
かもがわは石長松菊園の奥に建っています。

☆緊急のご連絡の場合は次の番号にお電話ください。

京都市中京区土手町通夷川上る末丸町 284 職員会館かもがわ
075-256-1307 又は 0120-82-5252 (フリーダイヤル)
075-256-1309 (FAX)